

# 文部科学省CBTシステム（MEXCBT：メクビット）活用事例 【千葉県】香取市立栗源小学校

千葉県の香取市立栗源小学校 飯田 信吾 先生から、MEXCBTの利活用についてお話を伺いました。  
 栗源小学校は、家庭学習の充実とICT利活用の推進を目的としてMEXCBTを利活用され、児童一人あたりの累計解答数も多くなっています。活用を推進していくための具体的な手順や工夫、また取り組みの中で見えてきた児童側・教員側それぞれの成果や課題などについて、主にお話を伺いました。  
 ■■■学校HPのURL <https://www.katori-edu.jp/kurimoto-e>■■■

<p><b>活用の概要</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の家庭学習の充実とICT利活用の推進を目的として、週末にMEXCBTでのテストを必修課題として配信している。</li> <li>・ 児童は1人1台端末を家庭に持ち帰り、提出期限までに学習を進めていく。</li> <li>・ 配信するテストの内容については、教員が事前に確認し、前学年までの復習を中心に選択している。</li> <li>・ テストは、児童がすぐに解答を確認できるように、自動採点可能な問題を出題している。                  (例) ちばっ子チャレンジ100 国語・算数                  さいたま基礎学力定着プログラム 算数                  ほっかいどうチャレンジテスト 算数</li> </ul>
<p><b>子どもたちの反応</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童はCBT形式のテストに慣れ、抵抗なく取り組むことができるようになった。</li> <li>・ テストに解答するために、問題文をスクロールしないと入力できない問題があり、操作に苦勞する児童がいた。</li> </ul>
<p><b>先生の反応</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭学習の記録がデータに残るため、教員が学習状況を把握しやすく、児童が間違いやすい問題の傾向も把握できる。</li> <li>・ 教員が定期的に課題を配信したことで、MEXCBTの操作にも慣れ、テストの配信の方法も含めたMEXCBTの機能の理解も進んでいる。</li> <li>・ MEXCBTテストの自動採点機能により、教員の業務軽減につながっている。</li> </ul>
<p><b>ご意見やご要望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題ごとの正答率が集計できると、誤答が多い問題を集めて対策問題を作成することができる。</li> </ul>



※ 文部科学省では、いただいたご意見やご要望を参考に、順次、MEXCBTの改善を進めています。